

# 平成 28 年度 第 4 回九州橋梁・構造工学研究会シンポジウム

主催：一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会  
共催：公益社団法人 土木学会西部支部

## プログラム

9:30—10:00 受付

10:00—10:05 開会挨拶（日野会長）

10:05—11:40 第 1 セッション 座長：浅井 光輝（九州大学大学院）

(1-1) メタカオリン含有人工ポゾランの混和がコンクリート中の見掛けの拡散係数および塩分固定化特性に及ぼす影響

九州大学大学院 梅山寛崇

(1-2) タンDEM正方形角柱のインライン振動特性に関する研究

九州工業大学 中村雄太

(1-3) 背面土を考慮した実規模橋台の水平抵抗特性に関する検討

九州大学大学院 朝廣祐介

(1-4) 2016 年熊本地震における大切畑大橋の損傷メカニズム

熊本大学 吉塚卓史

(1-5) 鉄筋コンクリート版の貫通破壊に関する基礎的研究

九州大学大学院 後藤航

(1-6) 構造同定手法を援用した構造 FE モデル精緻化における要素の接合状態に関する検討

長崎大学大学院 田中敦海

（昼休み：60 分）

**12:40—14:15 第2セッション 座長：森田 千尋（宮崎大学）**

(2-1) 2016年熊本地震における鈹桁橋の損傷メカニズム

熊本大学 大城雄希

(2-2) ASR膨張に伴う内部ひび割れが生じたコンクリートの強度および静弾性係数に関する研究

九州大学大学院 阪井峻

(2-3) 実現理論の設定パラメータが実橋振動特性の推定精度に与える影響

長崎大学大学院 柴田剛志

(2-4) 都市内高架橋鋼I桁端部の腐食挙動に及ぼす漏水の影響評価

九州大学大学院 八木孝介

(2-5) 鹿児島県の橋梁点検データを用いたマルコフ連鎖モデルによる劣化進行予測

鹿児島大学大学院 前田圭

(2-6) 横荷重を受ける片持ち丸鋼の応力状態に関する基礎的研究

九州大学大学院 吉武翔

**(休憩：15分)**

**14:30—16:05 第3セッション 座長：中村 聖三（長崎大学大学院）**

(3-1) 防波堤の洗掘崩壊対策に向けたSPH-DEM連成解析による固液混相流解析手法の開発

九州大学大学院 原崎健輔

(3-2) 乾湿繰返し作用がモルタル中の塩化物イオンの浸透に及ぼす影響

鹿児島大学学術研究院 小池賢太郎

(3-3) A Fundamental Study on the Diagnostic Measure of Concrete Structure using Hammering Sound Test

九州大学大学院 Thanawadee Srisomboonsakul

(3-4) 小さい断面辺長比を有する矩形断面の空力振動に関する実験的研究

九州工業大学 江尻和史

(3-5) Al-Mg 合金溶射/Zn めっき、Zn 溶射のガルバニック腐食特性に関する基礎的研究  
九州大学大学院 藤本拓史

(3-6) 2016 年熊本地震における鋼斜張橋の損傷メカニズム  
熊本大学 上田智也

(休憩 : 15 分)

**16:20—17:55 第 4 セッション 座長 : 佐川 康貴 (九州大学大学院)**

(4-1) 初期不整を有する薄肉円筒シェルの終局挙動の統計的評価法  
長崎大学大学院 小宮允人

(4-2) 劣化損傷した RCT 桁橋の耐荷特性に関する解析的研究  
九州大学 栗山尚人

(4-3) 2016 年熊本地震における扇の坂橋の被害分析  
熊本大学 一二三諒

(4-4) Fully Explicit time integration of ISPH for large-scaled tsunami simulations  
九州大学大学院 Li Yi

(4-5) 静的破碎材の膨張圧特性に関する研究  
九州工業大学大学院 中川太貴

(4-6) 粒子法による河川堤防の地震時安全性に関する基礎的検討  
九州大学大学院 平野翔也

**17:55—18:10 KABSE シンポジウム論文賞・優秀発表賞授賞式および  
閉会挨拶 (中村運営委員長)**

**論文集掲載論文 (1 編)**

(5-1) A Coupling Analysis of Chemical-Mechanical Damage In Reinforced Concrete  
Beams  
九州大学大学院 Hamidun bin Mohd Noh